

本科 3 期 2 月度

解答

Z会東大進学教室

高1 選抜東大英語

高1 東大英語



30章 形容詞・副詞

要点

■ 確認問題1

解答

- (1) many a good
- (2) a good many
- (3) quite a few

■ 確認問題2

解答

- (1) three fifths of the people
- (2) to none
- (3) a five-year-old child

■ 確認問題3

解答

- (1) afraid は限定用法としては使えない。afraid → horrified ; frightened など。
- (2) 叙述用法において、natural は人を主語にすることができない。She was natural to do so. → It was natural for her to do so.
- (3) mere は叙述用法としては使えない。mere → small ; mere thing など。

■ 確認問題4

解答

- (1) successive
- (2) Sensible ; economic

■ 確認問題5

解答

- (1) 私は最近よく、夜遅くまで働いているから本当に疲れている。
- (2) ほぼ1カ月もずっとこの書類を厳密に調査している。
- (3) 次の休暇が待ちきれない。

■ 確認問題6

解答

- (1) close enough to touch
- (2) seldom stop to enjoy
- (3) will be back here again

■ 確認問題7

解答

- (1) much
- (2) much
- (3) yet
- (4) he comes

問題

【1】

解答・解説

- (1) lively 「環境について村人たちがしたその議論はかなり活気があった。」
○ lively 「元気な、活気に満ちた」
- (2) live 「この番組はパリからの実況です。」
ここでは叙述用法の形容詞で「(放送、番組などが) 生の、実況の」の意味。
- (3) respectful 「先生に対しては敬意を表さなければならない。」
- (4) respectable 「私はかなりの額のお金を稼いだ。」
- (5) respective 「子供たちはそれぞれの家へ帰った。」
- (6) sensible 「彼はそのよい提案を受け入れて、自分が賢明であることを示した。」
- (7) envious 「その女性は他人をうらやましがる。」
○ envious 「(人が) うらやましがる、ねたみ深い」 (= apt to envy)
- (8) enviable 「その女性のドレスはねたましいほどだ。」
○ enviable 「(人、物が) うらやましがられるほどよい」
- (9) pleasant 「彼女が歌うのを聴くのは楽しい。」
- (10) satisfactory 「あなたの答えはまったく満足できるものではない。」
○ far from ~ 「決して~でない；(文頭で) ~どころか」

【2】

解答・解説

- (1) ア 「どんな観光客も、自分が訪れている国のものをできるだけ多く見たいと思うのは、当然である。」 [後ろに tourist という単数名詞がきているので、any を選ぶ。イ～エの選択肢の後ろには複数名詞がくる。]
- (2) ア 「その情報は、ほとんどまったく役に立たない。我々はそのようなものはまったく必要ではない。」
○ little or no 「ほとんどまったく～ない」 [不可算名詞 use を修飾。]
○ of + 抽象名詞 = 形容詞
- (3) ウ 「この川にいる魚の数は、今年は非常に少ない。」 [数の大小を表す場合は large [great], small を用いる。]
○ scarce 「①乏しい、不十分な ②まれな」
- (4) ア 「この大学への志願者の数は、もっと多くなるだろう。」 [数の大小を表す場合は large [great], small を用い、ここではその比較級。]
○ applicant for ~ 「～への志願者〔応募者〕」
- (5) ア 「コーヒーは全然残っていないと思う。」
○ not any = no 「まったく…ない」
○ some は通例、否定文では用いない。

- little は「ほとんど…ない」という意味の準否定語なので、isn't little とすると二重否定になってしまう。
 - few は little と同様に準否定語であり、可算名詞を修飾する。coffee は不可算名詞。
- (6) ウ「日本にはほとんど石油がない。だから、輸入にはほとんど依存している。」[oil は不可算名詞なので、アとウが考えられるが、ウの方が文脈にふさわしい。]
- dependent on ~ 「～に依存している」
- (7) イ「観客席はほとんど満席だが、残席が少しある。」[but がヒント。but の前には「観客席はほとんど満席」とあるので、それと対になるような文脈にする。a few (少しある) を入れるのがふさわしい。]
- auditorium 「講堂、観客席」
- (8) エ「彼女は大した給料でもないのに、一生懸命会社勤めをしている。」[salary の大小は large or small [high or low] で表す。]
- (9) ウ「世界には6億台の電話がある。そのうちの4分の3は9カ国にある。」[「4分の3」は three quarters。動詞の数は three quarters of の後ろにくる名詞の数に一致する。]
- (10) イ「私が10年前にその本を買った時、それはわずか1.5ドルだった。」[cost の目的語。目的語になるのは名詞相当語句。one and a half ~ は、複数扱いである。]

[3]

解答・解説

- (1) has a good knowledge of [knows が不要] 「～をよく知っている」 → 「～についての十分な知識がある」と考える。]
- have a good knowledge of ~ 「～についての十分な知識がある」
- (2) The building under construction is to be ten stories high [ten stories high で「10階建て（の高さ）で」の意味を表す。]
- under construction 「建設中の」
 - be 動詞 + to do 「…することになっている」 [「(公式の) 予定」を表す]
 - ten stories 「10階」
- (3) All the people present were moved
- present adj. 「出席している」 この意味では、名詞や代名詞の後に置く。)
- (4) learn something very important from listening to [-thing で終わる代名詞を修飾する形容詞は、代名詞の後に置く。]

[4]

解答・解説

- (1) still 「彼はまだ私の質問に答えていない。」[yet が否定文で「まだ…ない」という意味を表す場合、yet は文末にくるのが普通。また、yet not の語順にはならない。still は否定の行為の継続を強調している。]
- (2) now 「たった今昼食をとったところですか。」[now も just now も「たった今、今しがた」という意味だが、just now は過去形と共に用いられることが多く、その場合たい

ていは文末に置かれる。】

- (3) either 「スーザンは行かないし、私も行かない。」 [either は「(～もまた) …ない」の意味で、文末で用いる。]
- (4) high 「彼は高くジャンプした。」 [(物理的に) 高く、高い所へ] の意味の副詞は high。]
- (5) highly 「彼は彼女を高く評価した。」
- highly *adv.* 「(評価を表す動詞と共に用いて) 大いに褒めて」
- (6) close 「私の近くにいなさい。」
- close to ~ 「～に接近して」
- (7) closely 「この報告書を綿密に調べなさい。」
- closely 「綿密に、細かく」

【5】

解答・解説

- (1) イ 「最近我々はお互ひ会っていない。」 [late は副詞では「遅れて；遅く」の意味。 rarely, seldom は頻度を表す副詞で、not と共にには通常用いない。 lately が「最近」の意味の副詞。]
- (2) ア 「ジョージは仕事の大部分をやった。だが、すべてやったわけではない。」 [he didn't do it (). は George did most of the work. を言い換えて説明したもの。部分否定にする。]
- (3) ア 「彼は5時ちょっと前に家に着いた。」 [shortly before ~ は「～の少し前に」の意味。 timely は「タイミングがよい」の意の形容詞。 momentarily は「瞬間的に；直ちに」の意の副詞。]
- (4) エ 「私のレコードのほとんどすべてが、ドイツから輸入されたものだ。」 [almost は副詞なので、直接名詞を修飾することはできない。 イ、ウは Most の後ろに of が欠けている。]
- almost all + 複数形, almost every + 単数形に注意。
- (5) ウ 「私はそれがよい本であると思ったが、ジムはそうでないと思った。」 [「別の方法で、違ったように」の意味を表す副詞 otherwise が正解。]
- (6) ア 「そのショーは夜何時に始まるか知っていますか。」 [(時刻、時期が) 早い] は early を用いる。「夜どれくらい早く始まるか」ということ。]
- (7) ウ 「ベティはトムを愛していたし、ジェーンもそうだった。」
- 肯定文, and so V (助動詞) S 「S もまた…である」
cf. 否定文, and neither [nor] V (助動詞) S (S もまた…でない)
- (8) エ 「私はその画家が好きではないし、彼の作品も好きではない。」 [either は「(～もまた) …ない」の意味で、否定文で用いる。]
- (9) ウ 「フランクが車の事故にあったのは本当ですか。」「残念ながらそうです。」
- I'm afraid so. 「残念ながらそのようです。」
cf. I'm afraid not. (残念ながらそうではないようです。)

(10) ウ ジム「メアリーは今日来るのですか。」

スー「来ないと思います。彼女は具合が悪いのです。」

〔“Is Mary coming today?”という問い合わせに対し、「はい、来ると思います。」は“I suppose so.” (so は that she is coming の代用), 「来ないと思います。」は“I don't suppose so.”, または, “I suppose not.” (not は that she isn't coming の代用)。〕

【6】

解答・解説

- (1) The baby is fast asleep [形容詞を修飾する副詞は通常その形容詞の前に置く。]
- (2) is badly in need of repair [of を加える]
- badly 「とても、ひどく」
 - be in need of ~ 「~を必要としている」
- (3) much too large a quantity for [too を修飾するには, much, a lot, far, a little, a bitなどを用いる。「too (副詞) + 形容詞 + 不定冠詞 + 名詞」の語順に注意する。]
- (4) The devotion of too much time to sports leaves
- the devotion of ~ to … 「…に対して～を捧げること」
 - too much time 「非常に多くの時間」
 - leave ~ for … 「～を…のために取って〔残して〕おく」
 - too little time 「非常に少ない時間」
- (5) narrowly escaped being run over by a car
- narrowly escaped …ing 「あやうく…するのを免れる」
 - be run over by a car 「車にひかれる」
- (6) source of light here on the earth is [here は here in Japan (ここ日本で) のように here の後に同格的な場所を表す副詞句を伴うことがある。]

【7】

解答

A.

- (1) 200回 (2) そうする（嘘をつく）十分な理由があると感じているから。
(3) 患者に病気についての真実を知らせるのは酷であると思った時。

B.

- (1) A psychologist (estimates) that the average person tells (as) (many) (as) 200 lies a day, including “(little) (white) lies” and excuses such as : “I couldn't finish my homework because the electricity (went) (off) in our house.”
- (2) For example, a reporter might try to (pass) as a government official in order to get the (information) for a story he or she is writing.
- (3) (An) 18th-century famous philosopher (insisted) that all lies are harmful, (just) (as) the great Christian thinker Saint Augustine believed in (ancient) times.

Script

CD 2

A psychologist estimates that the average person tells as many as 200 lies a day, including "little white lies" and excuses such as : "I couldn't finish my homework because the electricity went off in our house."

Almost everyone tells a lie at one time or another without feeling that they have done something terribly wrong. Many people lie without hesitation because they feel there is good reason for it. For example, a reporter might try to pass as a government official in order to get the information for a story he or she is writing. Doctors, too, lie to patients sometimes when they feel that the truth about an illness would be too much for the sick person to face.

Lies such as these may be acceptable to the general public. Some have argued, however, that lying can never be excused under any circumstances. An 18th-century famous philosopher insisted that all lies are harmful, just as the great Christian thinker Saint Augustine believed in ancient times.

全訳

ある心理学者によると、人は平均して1日に200回も嘘をつくという。「ちょっとした悪気のない嘘」や、「家が停電したので、宿題を終えることができなかった。」などというような言い訳も含めてである。

ほとんど誰でも、それほどよくないことをしているという意識もなく、1度や2度は嘘をつく。多くの人は、そうする十分な理由があると感じているから、ためらわずに嘘をつくのである。例えば、記者は、自分が書こうとしている記事に必要な情報を得るために、政府関係者のふりをしようとするかもしれない。医者も、患者が病気に関する事実を受け止めるのは酷であると思った場合には、時々嘘をつくことがある。

このような嘘は、一般の人々には許容されるかもしれない。しかし、どんな状況でも嘘をつくことは決して許されない、と言う人もいる。18世紀のある有名な哲学者は、嘘はすべて有害であると主張した。古代のキリスト教思想家、聖アウグスティヌスもそう信じていた。

注

- psychologist 「心理学者」
- average 「平均的な、平均の」
- as many as ~ 「～もの」数の多さを強調する表現。
- lie *n.* 「嘘」, *vi.* 「嘘をつく」活用は lie - lied - lied, 現在分詞は lying。
- including ~ 「～を含む」
- excuse *n.* 「言い訳」, *vt.* 「～を許す」
- go off 「(水道、電気などが) 止まる」
- wrong 「悪い；間違った」
- good 「十分な、妥当な」
- pass as ~ 「～として通る」
- government official 「政府関係者、役人」

- patient 「患者」
- too much 「あまりの、 ひどすぎる、 度が過ぎる」
- the general public 「一般大衆」
- An 18th-century famous philosopher 「18世紀の有名な哲学者」 不定冠詞が an になっているのは、 18th (eighteenth) の最初の発音が母音だからである。
- just as ~ 「ちょうど～と同じように」
- Christian 「キリスト教の、 キリスト教徒の」
- Saint Augustine 「聖アウグスティヌス」
- ancient 「古代の」 特にギリシア・ローマ時代を指す。

添削課題

解答

- (1) My twelve-year-old daughter went to a soccer match with her grandfather.
- (2) Luckily, my brother has some tickets for next weekend's match.
- (3) He almost fell down the stairs.
- (4) The traffic here is very heavy.
- (5) All the members present at the staff meeting agreed with the president.

31章 前置詞

要点

■確認問題1

解答

- (1) マイクは空港で彼女の両親を見つけた。
- (2) 昨夜学校で火事が発生したので、アレックスがパトカーでそこに駆けつけた。
- (3) 私は9月13日に中国に到着した。

■確認問題2

解答

- (1) 私たちは結果を全く気にせずそれをやった。
- (2) 名古屋と東京はその高速道路によって結ばれている。
- (3) その空港は霧のため閉鎖されていた。

問題

【1】

解答・解説

- (1) to 「トムと話したいのですが。」
○ speak to ~ 「～と話す」
- (2) to, at, in 「彼は日曜日以外毎日職場に行く。日曜日は家にいて庭いじりをしている。」
○ at home 「在宅して」
- (3) to, at, at [in] 「彼は5歳から学校に通い始めた。だから、現在で10年通ったことになる。」
○ at the age of ~ 「～歳で、～歳の時に」
- (4) in, to 「バスに傘を置き忘れたようだ。遺失物取扱所に手紙を書かなければならない。」
○ leave ~ … (=場所) 「… (=場所) に～を置き忘れる〔置いてくる〕」
- (5) in, at 「君の辞書で単語を調べてもいいですか。自分の辞書を家に置いてしまったのです。」
○ look up ~ 「(辞書などで) ~を調べる」
- (6) At, in, to 「最初はその仕事がとても退屈だったが、数週間経てば慣れた。」
○ tiring 「(人を) うんざりさせるような」 [tired 「(人が) 疲れた、くたびれた」との違いに注意。]
cf. He can't come tonight. He says he's too tired.
(彼は今晚来られない。とても疲れたと言っている。)
- (7) to ; at, in
「どうすれば空港のターミナルに行けるの？」
「この通りのつき当たりを右折すれば、目の前に見えますよ。」
○ air terminal 「空港のターミナル」 *cf. a terminal station* (終着駅)
○ turn 「曲がる、向かう」
- (8) at, at, to, in 「昨日の真夜中に交差点で事故があった。2人が病院に運ばれた。1人はまだ入院していると思う。」
○ crossroads 「交差点、十字路」
○ at midnight 「真夜中に」
○ take ~ to hospital 「～を病院に連れて行く」

【2】

解答・解説

- (1) to ; on, On, by, in, on
「学校にはどうやって行くの？」
「天候次第だね。雨が降れば地下鉄で行くし、晴れていれば歩いて行く。」
〔「学校に行く」は go to school。「到達点」を表す to を用いる。「～次第である、～によって決まる」は depend on ~。tube とは the system of trains that run under

the ground in London のことなので, go () tube は「地下鉄で行く」となり, 空所には「交通手段」を表す by が入る。交通手段である名詞 (ここでは tube) が, 無冠詞であることに注意。]

(2) at, on 「何者かが演説者めがけて石を投げた。石は演説者の頭に当たってメガネが吹っ飛んだ。」「～をめがけて」は「標的, 焦点」を表す at を用いる。It hit him () the head の It は the stone のこと。the stone が the head の表面に接触するので, 空所には前置詞 on を入れればよい。]

(3) to, in, on 「トムによると, 月 2000 ドルなければニューヨークで生活できない。」「～によれば [したがえば]」は according to ~。it is impossible to live () New York () less than \$2,000 a month の it は, 形式主語であり, 後続の to 不定詞を指す。New York は「広い場所」であるので, in を用いる。() less than \$2,000 a month は「依存, 支え」を表す on (～を頼って, ～によって) を入れる。]

(4) with 「カメラに背を向けている男性は, 私の父親です。」() his back to the camera は The man を修飾する。「his back を to the camera という状態にしている男性」という意味。したがって, 付帯状況の with を用いる。]

(5) in, in, to, on 「廊下に荷物を置きっぱなしにしないで。みんなの邪魔になるよ。客室に持って行って, 棚に置いておきなさい。」[corridor は「(建物内などの) 廊下」のことであり, 「その場所に」を表すのは in である。「～の邪魔になって」は in one's way である。第 3 文の it は the compartment に「到達」するので, to を入れる。put it () the rack は, put という動作の結果, it が the rack の表面に接触することを表しているので, on を入れる。]

(6) on, to, to, of 「駅へ行く途中で新聞を買い, 電車で読む。ロンドンに着くまでに, 大半を読んでしまう。」「～へ行く途中」は on one's way to ~, 「～に着く」は get to ~。]

(7) by, by, on 「車で行かなければならない。ストだから, バスでは行けない。」[go () car, go () bus には「交通手段」を表す by を入れる。on account of ~ は「(特に問題や困難) のために」の意味で用いられる。]

(8) of, in, to 「郊外で働くのにうんざりで, 本店への転勤をお願いした。」「…するのにうんざりしている」は be tired of …ing。the suburbs は「広い場所」であるので, in を用いる。]

○ transfer ~ to … 「～を…に移動〔転任〕させる」

【3】

解答・解説

(1) × 「その犬には近づくな。」[approach は他動詞であるので, 前置詞は必要ない。]

(2) at 「6 時に駅に着いた。」「～に到着する」に arrive を用いる場合, 到着するのが「狭い場所」であれば at を用い, 「広い場所」であれば in を用いる。]

(3) × 「知らないのなら, ジョンに聞きなさい。」「人に尋ねる」の意味の ask は「人」を目的語にとる。]

(4) into 「そのバスは木に激突した。」「～にぶつかる〔衝突する〕」は crash into ~。]

- (5) on 「天気次第です。」[「～次第である、～によって決まる」は depend on ～。]
- (6) × 「あなたの計画について議論しましょう。」[「～について議論する」を意味する discuss は他動詞であるので、前置詞は不要。]
- (7) × 「誰もその部屋に入らなかった。」[enter は他動詞なので前置詞は不要。]
- (8) × 「そのスープには塩が足りない。」[lack は他動詞なので前置詞は不要。]
- (9) × 「彼女は彼と昨年結婚した。」[marry は他動詞であり前置詞は不要。]
- (10) for 「飲み物の料金を支払いましたか。」
- pay for ～ 「～の料金を支払う」
 - drink 「飲み物、飲料」

【4】

解答・解説

- (1) at 「彼女は語学がとても得意です。」[「～が得意である〔上手である〕」は be good at ～。]
- (2) into 「ケーキを 3 つに分けました。」[「O を～に分ける」は divide O into ～。]
- (3) in 「なぜ彼女は黒い服を着ているの？」
- be dressed in ～ 「～色の服を着ている」
- (4) in 「私はたいていのスポーツに興味があります。」
- be interested in ～ 「～に興味がある、～に関心がある」
- (5) to 「彼は私にとても優しかった。」
- be kind to ～ 「～（=人）に優しい〔親切にする〕」
- (6) for 「私は住む所を探している。」
- look for ～ 「～を探す」
- (7) after 「彼は母親の面倒をみなければならない。」
- look after ～ 「～の面倒を見る、～の世話をする（= take care of ～）」
- (8) to 「うちの妹は教師と結婚している。」
- be married to ～ 「～と結婚している」
- (9) to 「彼はあまり私には優しくしてくれなかっただ。」
- be nice to ～ 「～（=人）に親切にする」
- (10) of 「君に会うとお兄さんことを思い出すよ。」
- remind ～ of … 「～（=人）に…を思い出させる」
- (11) for 「警備の責任者は誰ですか。」
- be responsible for ～ 「（人が）～に対して責任がある；（物事が）～の原因である」
- (12) in 「私はその会議に出席しなかった。」
- take part in ～ 「～に参加する」
- (13) into 「これをフランス語に翻訳していただけますか。」
- translate ～ into … 「～を…に翻訳する、～を…（=別の形）に変える」
- (14) of 「それはいかにも君らしい。」
- be typical of ～ 「～の特徴を示して、～らしい」

【5】

解答・解説

本問では句動詞 (phrasal verb) について扱う。句動詞とは、動詞と前置詞や副詞を組み合わせることによって特別な意味となるものを指す。句動詞には2語で形成されるものもあれば、3語で形成されるものもあり、2語動詞 (two-word verb) や3語動詞 (three-word verb) と呼ばれることがある。

句動詞は2つ以上の意味を持つことが多く、また他動詞にも自動詞にも使われる。例えば、take off は「～を脱ぐ、取る」の意味では他動詞であるが、「(飛行機が) 離陸する」の意味では自動詞である。

- (1) take care of 「～の面倒を見る、～の世話をする」は take care of ~。]
- (2) looking for 「～を探す」は look for ~。]
- (3) takes after 「～に似ている」は take after ~。]
- (4) put up with 「～を我慢する」は、put up with ~。]
- (5) approve of 「～に賛成する」は approve of ~。]
- (6) care for 「～を好む、～を欲する」は care for ~を用いる。通例、care for ~は否定文、疑問文、あるいは条件文に用いる。]
- (7) complaining 「～に文句を言う」は complain about ~。complain of ~も同じ。現在進行形は「ある動作を繰り返していること」を表し、主語に対する非難の気持ちが込められる場合もある。]
- (8) account for 「～を説明する」を表す account for ~が入る。]
- (9) answer for [ややレベルの高い問題。「～に対して責任をもつ、～を保証する」を意味するのは、answer for ~である。]
- (10) broken into 「～に侵入する」は break into ~。受動態であるので、broken into が入る。]

【6】

解答・解説

- (1) We had a chat over a cup of tea 「～を食べながら〔飲みながら〕」を表す前置詞は、over である。]
- (2) I was sitting opposite Mary [to が不要] 「～の向かい側に」は、前置詞 opposite を用いる。]
- (3) Nothing but the best is sold in our shop 「当店では最高の品しか販売しておりません。」⇒「最高のもの以外何も販売されていない。」という意味。前置詞 but は「～以外の」を表す。「最高のもの」は the best となる。したがって、nothing but the best のつながりができる。後続の部分は受動態。]
- (4) He was absorbed in the book [with が不要] 「～に夢中になる〔熱中する〕」は be absorbed in ~。]
- (5) is successful in everything he does [in を補う。] 「～に成功する」は be successful in ~。「何をしても」は「するすべてのことにおいて」と解釈する。したがって、everything he does とする。]

【7】

解答

- (1) ドルは、世界市場において安定性の焦点や価値の標準的尺度とみなされてきた。しかし、世界市場が大きく揺れ動く時期もある。このような変動が1990年代半ばのメキシコ金融危機に起こった。
- (2) ドルは世界中どこでも受け入れられる。このため、ドルはとても貴重である。しかし、紙幣が流通しすぎることによって、ドルの価値がなくなることもあり得るのである。

解説

(1)

◇ The dollar ~ viewed as $\begin{pmatrix} \text{a focus of stability} \\ \boxed{\text{and}} \\ \text{a standard measure of value} \end{pmatrix}$ in world markets

- dollar 「ドル」
- view O as ~ 「Oを～とみなす」
- standard measure 「標準的な尺度」
- world markets 「世界市場」
- when は関係副詞で先行詞は times。
- Such a fluctuation は、前文にある「世界市場の変動」のこと。
- financial 「金融の、財政上の」
- crisis 「危機、重大局面」 cf. (複数形) crises

(2)

- This は前文の内容を指す。つまり、ドルが世界中どこでも受け入れられること。
- can は「…することができること」、it は the dollar のこと。
- valuable 「高価な、貴重な」
- in circulation 「流通して、出回って」
- worthless 「価値のない、無益な」

【8】

解答

(1) (a) On (b) in (c) on (d) with (e) By

(2) ウ

(3) 「全訳」下線部(1)~(3)参照。

解説

- (1) (a) 特定の日を表すのは on である。
(b) 「特定の日の朝、午後」ではなく、単に「朝、午後」という場合、in を用いる。
(c) set ~ on fire で 「～ (= 本来燃やすためのものでないもの) に火をつける」。
(d) 「～で覆われた」は be covered with ~。
(e) 「期限」を表す by が入る。

(2) 空所に入る serve, pour はいずれも他動詞であり、受身の関係にあるので、受動態にしなければならない。したがって、過去分詞を入れればよいので、(X) は served, (Y) は poured となる。

(3) (1)○ which are usually half empty が関係詞節で、先行詞は Churches。

- be full of ~ 「～でいっぱいである」
- ここでの church は「礼拝」のこと。
- sherry 「シェリー酒」 アルコール分を強めた白ぶどう酒のことで、通例食前に飲まれる。
- feasting 「宴、宴会」

cf. fast, fasting (断食、絶食) ※ feasting と混同しないように。

(2)○ Whoever gets the sixpence は Anyone who gets the sixpence のこと。「その 6 ペンス銀貨を手に入れる人は誰でも」の意味。

- ahead は副詞で「これから先に、将来に向かって」。

(3)○ Although は讓歩節を導く接続詞。

- eating 「食事、食べ物」
- mince pies 「ミンスパイ」 本来は刻んだ肉とドライフルーツ、香辛料などが入ったパイであったが、現在では肉が除かれてデザート用のお菓子となっている。
- to turn on ~ : 形容詞用法の不定詞で、time を修飾する。
- turn on ~ 「～の電源を入れる」
- watch は知覚動詞であり、O + 原形不定詞を伴い、「O が…するのを見る」。
- the nation 「国民」

全訳

大半の人にとって、クリスマスはあまりにもたくさん食べたり、飲んだりすることを意味する。お店は、ナツメヤシの実、ナッツ、ドライフルーツ、チョコレート、あらゆる種類のリキュールなどの「特別おいしいもの」でいっぱいになる。台所には、1年のうちの他の時期には決して見られない特別な食べ物があふれている。

クリスマスの日には、午前中に非常に多くの人々が教会に行く。(1)普段は半分ほどしか人が来ない教会が、クリスマスには人でいっぱいになる。礼拝の後、クリスマスプレゼントを開け、シェリー酒を飲み、それから宴が始まるのである。まず、焼いた七面鳥かガチョウか豚を、野菜、ソース、詰め物、濃厚なグレイビー、カリカリに焼いたポテトと一緒に食べる。大半の人が、6 ペンス銀貨の入ったぜいたくなクリスマスプリンを食べる前に、ひと休みする必要がある。(2)6 ペンス銀貨が入っていた人は誰でも、それから先、幸運な1年間を過ごすことになるのだ。プリンが出される直前に、プリンにブランデーをかけて、火をつける。それから、燃え上がるお皿がテーブルに運ばれて来るのである。

(3)これまでに大半の人が動けなくなっているが、食事はまだ終わっていない。ミンスパイ(ドライフルーツ入りペーストリー)、ナッツ、チョコレートがこの後に出される。それからが、テレビをつけて、女王が国民に向けて伝統的なクリスマススピーチをするのを見る時間なのである。

最後に、クリスマスケーキ —— マジパン (細かく碎いたアーモンドを卵黄、砂糖と混ぜ

たもの), 白いアイシングで覆われて, 通常はクリスマスにちなんだ情景の装飾のあるぜいたくなフルーツケーキが出される。この時までには, 子供たちはもらったばかりのおもちゃのことだけんかをしていて, 犬は, 部屋の隅で黙ってうんざりしているのである。

注.....

- ℓ. 2 ○ goodies 「おいしいもの, 特別に魅力のあるもの, 素晴らしいもの」〔砂糖菓子, チョコレート菓子などのこと。単数形は goody であるが, 通例複数形で用いられる。〕
- liqueur 「リキュール」
- ℓ. 4 ○ millions of ~ 「何百万の~」 数が非常に大きいことを表す。
- ℓ. 7 ○ roast 「焼いた, あぶった」
 - turkey 「七面鳥」
 - goose 「ガチョウ」
 - pork 「豚肉」
 - stuffing 「詰め物」
 - rich gravy 「濃厚なグレイビー」 肉を焼いている時にしたたり落ちる肉汁のソース。
- ℓ. 8 ○ crisp 「カリカリの, パリパリする」
- ℓ. 9 ○ pudding 「プリン」
 - contain ~ 「~を含む, ~が入っている」
 - silver sixpence 「6ペンス銀貨」
- ℓ. 10 ○ serve ~ 「~ (=食べ物・飲み物など) を出す」
- ℓ. 11 ○ brandy 「ブランデー」
- ℓ. 17 ○ marzipan 「マジパン」
 - fine ground almonds 「細かく碎いたアーモンド, 挽いたアーモンド」 fine は副詞で「細かく」, ground は grind の過去分詞, grind は「~を (細かく) 碎く」。
- ℓ. 18 ○ icing 「アイシング」 お菓子にかける砂糖・卵白などで作る糖衣。
 - decorated with ~ 「~で飾られた」
- ℓ. 19 ○ quarrel over ~ 「~のことで口論する [口げんかする]」
- ℓ. 20 ○ sick 「うんざりして, 飽き飽きして」
 - in the corner 「隅のほうで」

【9】

■ 答案・解説 ■

- (1) on 「ご成功おめでとう。」[「~のことでおめでとう」は congratulations on ~となる。]
- (2) of 「あなたの方針を詳細に教えてください。」[「~の詳細」は details of ~。]
- (3) of 「これは彼の研究の一例です。」
 - an example of ~ 「~の例」
- (4) in 「物価は全く上昇していない。」
 - prices 「物価」(「物価における上昇」と考える。)
- (5) of 「彼の話についての証拠が必要だ。」
 - proof of ~ 「~についての証拠」: 「~に対する反証」は proof against ~を用いる。

cf. There is no proof against his statement.

(彼の言ったことに反する証拠はない。)

- (6) for 「変更した理由は何ですか。」〔「～の理由」は a reason for ～である。a reason of ～とはならないことに注意。〕

添削課題

解答

- (1) Thanks to your advice, his project was successful.
- (2) This map on the wall doesn't show the shop.
- (3) He bought the blue car at half price.
- (4) We can see the sights of Sydney on the way to the movie theater.
- (5) As to the result of the work, our president seemed to be satisfied.

32章 謙歩

要点

■確認問題1

解答

- (1) 肌の色が違っても、人間は皆同じだ。
- (2) 彼は金持ちだったが、さらに多くの金を稼ぐのが好きだった。
- (3) お客様が悪かろうとなかろうと、あなたが彼女に謝るべきだった。

■確認問題2

解答

- (1) 名詞節 私のかばんを見つけた人にはどなたでも報奨金を差し上げます。
※謙歩ではないことに注意。
- (2) 副詞節 あなたが誰であろうと、私の身に起こったことについては何も申し上げることはできない。
- (3) 副詞節 何が起ころうとも、あなたなら臨機応変に対応できる。

■確認問題3

解答

- (1) 小型車の売り上げが大きく伸びているのにもかかわらず、自動車市場全体の売り上げは不振だ。
- (2) 不況が確かに私たちの購買習慣を変えたが、若者もまた変化した。
- (3) 君たちの両親が若かった頃は、皆ではないにしろ、かなり多くの人々が、車を持ちたがっていたものだ。

問題

【1】

解答

- (1) 確かに彼は最善をつくしたが、成功しなかった。
- (2) 彼女は努力したにも関わらず、十分報われなかつた。
- (3) 遅くなつたが、彼は勉強を続けた。
- (4) どんなことが起ころうとも、私は彼が正しいと証明するだらう。
- (5) 手伝いたいのだが、忙しくてできない。
- (6) 奇妙に思えるかもしれないが、私はインフルエンザの予防接種を受けるのを楽しみにしている。
- (7) 王室の夫妻がどこへ行こうとも、彼らを見ようと待ち受けている多くの人々がいる。
- (8) 現金で払おうとクレジットカードで払おうと、必ずレシートをもらってください。

【2】

解答・解説

- (1) 「たとえ敵が多くいるとしても、ビルは偉大な社長だ。」讓歩構文で最も頻繁に用いられるのが、even if S V (たとえ S が V だとしても) という表現。
 - president 「社長」
- (2) 「どちらにしても私たちはまったく同様の人生を過ごすというのは真実ではあるが、私たちの人生に対する考えは自分自身を誰と比較するかによって大きく変わり得る。」 even though S V は、even if S V とほぼ同様の内容を表す。
 - either way 「どちらにしても」
- (3) 「5年かかるとしても、私はそれをするでしょう。」 even if S V は、even が省略されて if だけでも讓歩の意味になることができる。
 - take A B (to do) 「A (=人) が (…するのに) B (=時間・労力など) かかる」
- (4) 「マイクは自分の赤ちゃんが笑っているのか、泣いているのかわからなかつた。」 本問の if は名詞節を導いて、「～するかどうか」という意味になる。名詞節と副詞節を見分けるには、主節の動詞が自動詞であるか他動詞であるかを手がかりするのがよい。
※ tell は「～をわかる」という意味になることに注意。
- (5) 「好むと好まざるとにかかわらず、いつかあなたはケビンに顔を合わせなければならぬだろう。」 副詞節を作る whether ~ or not は「～であろうとなからうと」という意味になる。
- (6) 「座席が残されているかどうかは、わかりません。」 whether ~ or not が名詞節を導く場合、名詞節を導く if と同様、「～するかどうか」という意味になる。
※ whether と if は交換が可能だが、if を導く名詞節が、①前置詞の後ろにある場合、
②主語または補語になる場合などには、置き換えることができないので注意が必要。
 - there'll be any seats left は、any seats will be left に置き換えて考える。
 - It is doubtful whether ~ or not. 「～するかどうか疑わしい。」

【3】

解答・解説

- (1) 「彼は非常に勤勉だが、私は彼がその仕事にふさわしい人間だとはいまだに思わない。」
even if S V と並んで、It is true ~ but … (確かに～だが、…) もよく使われる譲歩表現。
- hardworking 「勤勉な」
 - right (for ~を伴って) 「～に適切な、ふさわしい」
- (2) 「私たちはすべてを注意深く計画したにもかかわらず、多くのことが悪い方向に進んだ。」
○ in spite of ~ 「～にもかかわらず」
- (3) 「編集者の約束にもかかわらず、1カ月以上後になるまでそのスポーツ選手との対談は行われなかった。」
○ despite ~ 「～にもかかわらず」
- (4) 「彼には財産はあるけれども、幸せではない。」
○ with all ~ 「～にもかかわらず」
※ (2) ~ (4) の表現は一まとめにして覚えておくこと。
- (5) 「どんなに努力してもその少女の命は救えない。」
最上級は「～さえも (= even)」の意味を含み、譲歩の意を表すことがある。

【4】

解答・解説

本問では、whatever, whenever, howeverなどを用いた譲歩表現を扱っている。

- (1) whenever she was called on 「英語の授業中に指されて音読する時はいつも、彼女は独特的の日本語なまりで話しかえした。」
- call on ~ 「～に発言を求める」
 - whenever S V 「SがVするときはいつでも」
 - accent 「アクセント、なまり」
- (2) however brief it may be 「運転は複雑な仕事であり、集中力を欠けば、それがどんなに短い時間であっても、運転者が乗り物を制御することができないという結果になり得る。」
- task 「仕事」
 - concentration 「集中（力）」
 - however S may V 「どんなにSがVであっても」 however it may be briefなどにしないよう、語順に注意。
 - 譲歩を表す副詞節内に may が用いられることがある。
 - lack 「不足」
- (3) Whatever the reason for his greatness 「アインシュタインの偉大さの理由が何であれ、この決心がアインシュタインに新たな物理学を発見させ、他の誰もがあえて研究しようとしなかった分野を探求したことは疑うべくもない。」
- whatever ~ 「～が何であろうとも」

- there is no doubt that ~ 「～は疑いない、きっと～するだろう」
- greatness 「偉大さ」 < great adj.
- allow ~ to do 「～が…することを許す」
- invest ~ 「～を発明する」

(4) No matter how many times we have observed something happening 「ある特定の状況下で何かが起こるのを何度も観察しようとも、その状況が生じる度に同様のことが起きるだろうと完全に確信することはできない。」 -ever は、no matter - で書き換えられ、同じ意味を表す。

Ex. Whoever said so, it is false. = No matter who said so, it is false.

(たとえ誰がそう言ったにしても、それは嘘だ。)

- observe ~ 「～を観察する」
- absolutely 「完全に」
- 本文は前出の cannot と結びついて、「完全に～というわけではない」という部分否定を表している。
- every time S V 「S がVする度に」

(5) Important as the interaction of science and technology is 「科学と技術との相互作用は重要ではあるが、先に提唱された方法の最も本質的な部分は第3の局面、つまりその2つと社会との結びつきである。」 ‘形容詞 + as ~’ という見慣れない形だが、これも「～だけれども」という意味の譲歩表現。

- essential 「必須の、本質的な」
- propose ~ 「～を提案する」
- approach 「接近、接近〔研究〕方法」
- aspect 「外観、局面、側面」
- connection 「関係、つながり」

【5】

解答

「全訳」下線部(1), (2)参照。

全訳

(1) シロナガスクジラの大きさを表すのには、どのような形容詞を使っても不十分であり、他のほ乳類と比べてどれほど大きいのかを認識している人はほとんどない。どのような基準からしてもシロナガスクジラは地球上で最大の生き物である。「尾ひれ」と呼ばれるひれの1つは、普通のダンプカーの積み荷スペースが一杯になるほどである。(2) シロナガスクジラの頭蓋骨は、乗用車の大きさと重さがあるが、脳はキャブレターの大きさしかない。心臓はそれを持ち上げるのに5人の力持ちが必要なほど大きく、一方で皮膚はフットボール場の半分を覆う防水シートとして使えるほどである。100頭の馬、100頭の乳牛、5頭のインド象の体重を合わせると、雌のシロナガスクジラ1頭分の重さに達するであろう。シロナガスクジラにとって幸いなことに、今までのところ水中の環境によって、何百万年も前に恐竜が経験したような絶滅をクジラは免れている。

注.....

- ℓ. 1 ○ No single adjective is adequate 「どんな形容詞を使っても不十分だ」讓歩を含む否定表現。
 - describe ~ 「～を説明する、表現する」
- ℓ. 2 ○ how it compares with ~ 「～と比較してどれほど大きいのか」
 - mammal 「ほ乳類」
 - by any standard 「どんな基準からしても」 …これも讓歩表現。
- ℓ. 3 ○ would : 仮定法。「もし…しようとすれば…できるほどだ」という意味。
- ℓ. 4 ○ skull 「頭蓋骨」
 - The size and weight of …の and がつないでいるのは、size と weight という 2つの名詞で、これらを of a car が修飾している。
- ℓ. 5 ○ so ~ that … 「…するほど～だ」
- ℓ. 6 ○ while … 「その一方では…、そして…」
 - could も仮定法。
 - to cover 「～を覆う（ための）」形容詞用法の不定詞で、tarpaulin を修飾。
 - half a ~ 「～の半分」
- ℓ. 7 ○ dairy cow 「乳牛」
 - a hundred dairy cows, and five Indian elephants … の and は、a hundred horses, a hundred dairy cows, five Indian elephants という 3つの名詞をつないでいて、これらが ℓ. 7 の the weights of に続いている。
 - five Indian elephants, and you … の and は Combine から始まる命令文と後ろの文の 2つをつないでいる。ここでの 命令文 + and … は、「～すれば…になる」という意味。
- ℓ. 8 ○ Fortunately ~ 「幸いなことに～」 (= It is fortunate that ~)
- ℓ. 9 ○ watery 「水中の」
 - so far 「今までのところ」
 - the extinction suffered by ~ 「～が経験したような絶滅」
 - the dinosaur 「恐竜」 the は種全体を表している。
- ℓ. 10 ○ millions of ~ 「何百万もの～」

【6】

解答

A.

- (1) 北極や南極付近の氷 (2) 空気 (3) 氷に切り込んで、氷の層を取り出すため (4) 二酸化炭素

B.

- (1) According to their theory, when snow falls, air is trapped between the snowflakes. The snow turns to ice (with) (the) (air) (still) (inside).

- (2) Over the years more snow falls on top, making new layers of ice. But the trapped air remains (exactly) (as) (it) (was) when the snow originally fell.
- (3) To find (what) air was (like) 300 years ago, you use a drill in the shape of a hollow tube to (cut) deep (into) the layers of ice.
- (4) This means if you count the layers in the core, you can get ice formed from the snow (that) (fell) (during) (the) (year) you want to study.
- (5) Using this method, these scientists suggested that the amount of carbon dioxide (CO_2), one of the gases (which) (may) (cause) global warming, had increased greatly over the last 200 years.

Script

 **CD 4**

Some years ago, certain scientists found a way to know the nature of the atmosphere of the past by studying air caught in the ice around the North or South Pole. According to their theory, when snow falls, air is trapped between the snowflakes. The snow turns to ice with the air still inside. Over the years more snow falls on top, making new layers of ice. But the trapped air remains exactly as it was when the snow originally fell.

To find what air was like 300 years ago, you use a drill in the shape of a hollow tube to cut deep into the layers of ice. When you pull up the drill, an ice core made of many layers comes up inside it. Each layer represents one year. This means if you count the layers in the core, you can get ice formed from the snow that fell during the year you want to study.

Using this method, these scientists suggested that the amount of carbon dioxide (CO_2), one of the gases which may cause global warming, had increased greatly over the last 200 years.

全訳

何年か前に、ある科学者たちは、北極や南極の氷に閉じこめられた空気を調査することによって過去の大気の性質を知る方法を見いだした。その理論によると、雪が降る時、空気が雪片の間に閉じこめられる。その雪は中に空気を閉じこめたまま氷になる。何年も経つうちに、雪はどんどん上に積もって、新しい氷の層ができる。しかし、閉じこめられた空気は、雪が最初に降ったときのままの状態である。

300年前の空気の状態を調べるには、中が空洞のチューブの形をしたドリルを使って、氷の層に深くまで切り込む。ドリルを引き抜くと、たくさんの層から成る氷の芯が、ドリルの中に入って上がってくる。一つ一つの層はそれぞれ1年を表している。つまり、芯の層を数えれば、調査をしたい年に降った雪からできた氷がわかるのである。

この方法を使って、この科学者たちは、地球温暖化ガスの1つでもある二酸化炭素の量が過去200年で大きく増加したことを示している。

注

- nature 「性質」
- atmosphere 「大気」
- the North Pole 「北極」 the South Pole は「南極」。

- theory 「理論, 仮説」
- trap ~ 「～を閉じこめる, とらえる」
- turn to ~ 「～に変化する」
- with the air still inside 「空気がまだ中に入っている状態で」この with は付帯状況を表す。
- over the years 「長年かけて, 長年にわたって, 年を追って」
- remains exactly as it was when ~ 「～のときとまったく同じままである」: 「現状」という意味の as it is を過去形にして, as it was とすると「そのときの状態」という意味になる。
- originally 「もともと, 最初に」
- what air was like 300 years ago 「300 年前の空気がどのようなものだったか」これは名詞句である。
- ice formed from ~ 「～から形成された氷」form は「～を形づくる」という意味の動詞。
- method 「方法」
- suggest ~ 「～を提唱する; ～を (暗に) 示す」
- amount 「量」
- carbon dioxide 「二酸化炭素」
- gas 「気体, ガス」
- global warming 「地球温暖化」
- greatly 「大きく, 大量に」

添削課題

解答

- (1) Even if Joe gets better, he won't be able to earn his own living.
- (2) Child as he was, he did the work better than his parents.
- (3) I'd rather have a house of my own, however small it may be.
- (4) It is good method, to be sure, but it is hard to practice.
- (5) No matter how healthy a man may be, he should take care of himself.

E1JS/E1J
高1選抜東大英語
高1東大英語



会員番号	
氏名	